

いくつになつても
現在進行形*

第29回
東京国際映画祭
特別上映作品

笑う 101歳 ×2

笹木恒子 むのたけじ

日本初の女性報道写真家と
伝説のジャーナリスト。
女と男。カメラとペン。
二人の生き方を見つめた
希望のドキュメンタリー映画

死ぬ時 そこが
生涯のてっぺん



ニッポンの100年を駆け抜けた女と男。
その生き方には、学びたい自由な知恵が詰まっていた。



日本は、世界一の超高齢化社会に突入しましたが、行き先はま
すます不透明になり、いかに生き、いかに死ぬかが時代の切実な
テーマです。

この時代に、注目を集める二人の101歳。日本初の女性報道写
真家 笹木恒子と、孤高にして伝説の新聞記者 むのたけじ。存在
そのものが奇跡のような女と男を追い続けたドキュメンタリー映画
『笑う101歳×2 笹木恒子 むのたけじ』が完成しました。

監督は、NHKのディレクターとしてドキュメンタリーフィルム「がん宣
告」「シルクロード」「チベット死者の書」などで数々の賞を受賞、大
ヒット作『天のしづく 辰巳芳子“いのちのスープ”』で知られる河邑
厚徳。本作では、むののペンと笹木の写真を交錯させ、二人の証
言を通じ激しく揺れ動いた時代の人間ドラマを描くとともに、101
歳でお現役として生きる輝きとその秘訣を探ります。

この映画には、長い人生を笑いながら終えようとする二人の、学ぶ
べき自由な生き方が詰まっています。そのライフスタイルは、老いを
どう生きぬくかを考える人を励まし、希望を届けてくれるはずです。



笹木恒子 ●1914年9月1日東京生まれ。日本初の女性報道写真家。日独伊
三国同盟から60年安保闘争など、戦中・戦後の歴史の節目に立ち会い、徳富芦峰、
加藤シヅエ、三笠宮ご一家、浅沼稲次郎、力道山ら昭和史を彩る人々にもカメラを
向けた。一時期、写真の世界から遠ざかるも71歳にして活動を再開。以後、明治
生まれの女性たちを題材に撮影を継ぎ、日本女性史を膨大な息吹あふれる写真とし
て表現。宇野千代、壺井栄、杉村春子、沢村貞子ら「明治生まれの女性たち」シリーズ
は笹木の代表作となった。102歳の今もお現役フォトジャーナリストとして活躍中。



むのたけじ ●1915年1月2日秋田生まれ。新聞記者として戦前・戦後を生き抜
き、足早に通り過ぎる時代を記事にし、幅広い発言を残した伝説のジャーナリスト。
中国・東南アジア特派員として戦地を取材するも、1945年8月15日、戦争協力の
記事を書いた責任を感じて新聞社を辞め、その後ふるさとの秋田県横手に戻り、
週刊新聞「たいまつ」を発行。戦後の激動の中でも自由を旗印にジャーナリストと
しての矜持を保ち、若い世代に向け平和を訴えた。2016年8月、101歳で死去。
マスコミだけでなく、若者から老人までの多くの市民が深い哀悼の意を表した。

監督・脚本：河邑厚徳（『天のしづく 辰巳芳子“いのちのスープ”』） 出演： 笹木恒子、むのたけじ 語り： 谷原章介 音楽： 加古隆
プロデューサー： 平形則安 撮影： 中野英世、海老根務 編集： 莉尾明子 音楽監督： 尾上政幸 製作： ピクチャーズネットワーク
配給： マジックアワー、リュックス 2016年／日本／ドキュメンタリー／カラー／91分／デジタル 助成： 文化庁文化芸術振興費補助金 © ピクチャーズネットワーク株式会社
G (映像) www.warau101.com

6月3日(土)
ロードショー！ 全国順次公開！

◎全国共通特別鑑賞券￥1,100(税込)絶賛発売中！

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
03(3280)0099 http://www.topmuseum.jp/

東口 動く通路
至 渋谷 JR恵比寿駅
日比谷線恵比寿駅 1番出口
JR恵比寿駅東口改より徒歩7分、地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
TOP MUSEUM

劇場窓口でお買い求めの方に「 笹木恒子 & むのたけじ 特製ポストカードセット」プレゼント！※先着順・数量限定